

大地の恵みに感謝！ **大盛況のアグリ感謝祭**

豊野町で収穫された農産物の恵みに感謝するアグリ感謝祭が10月15・16日にアグリパーク豊野で行われ、市内外から大勢の人が訪れました。

野菜や果物、花などの農産物の直売のほか、買い物をした人を対象にしたお楽しみ抽選会や豚汁無料サービス(限定500食)などがあり、会場は終日大にぎわい。

このほか、同町の特産品である「まこもたけ」のおいしさを知ってもらおうと試食会も実施されました。酢みそ和え・野菜炒め・サラダ・天ぷら・肉巻き・おろし揚げの6品が振る舞われると、試食した人々は口々に「おいしい」と言い、まこもたけを買い求めていました。



まこもたけ6品が振る舞われた試食会(写真左・上から時計回りにサラダ・肉巻き・酢みそ和え・野菜炒め・おろし揚げ、真ん中は天ぷら)



たくさんの買い物客でにぎわう会場。ナシやカキ、ぶどうなど、地元特産品をはじめ、さまざまな農産物がずらりと並び、両手に抱えきれないほど買い込む人もいました

農業女性の地位向上のために **農村女性支援Gが新体制でスタート**

「松橋町農村女性支援グループ」が平成13年に9人の委員で発足して4年が経過。その間、農業関係団体との意見交換会、各種学習会、視察研修および消費者との交流などを行い、農村における農業女性の重要性を示してきました。

今回、新メンバー11人で本年度の活動を開始。10月13日、消費者との交流の一環として、松橋保育園の年長児を対象に、きらら住宅展近くの畑で農業体験を実施しました。園児たちは慣れない手つきでダイコンやホウレンソウの種をまき、歓声とともに土のぬくもりを感じていました。



楽しそうに種をまく園児たち

さわやかな秋風を受けながら **コスモスの中をジョギング大会**

秋の名物行事、第7回「秋桜ジョギング大会」(市主催・市陸上協会小川支部主管)が10月8日、小川町のコスモス街道でありました。

市内外の小学生から一般まで約470人が参加。約20,000本のコスモスが満開の砂川右岸の黒橋—新田橋間を折り返すコース(2km・4km)で、一般、小学校、中学校、ファミリーの部に分かれて競いました。

時折、小雨の降るあいにくの天気でしたが、参加者は、色とりどりのコスモスの花を楽しみながら元気いっぱい走りました。



せっかくだからきれいなコスモスもしっかり見ながら走ってね

スポーツの秋真っ盛り！ **市内各地で体育祭を開催**

先日、宇城市内の各小学校区単位(三角町を除く)で、体育祭が開催されました。小川町では10月2日、松橋町の松橋校区は10日、そのほかは10月9日に実施。

秋空の下、参加者たちは気持ちいい汗を流しました。

最後の難関「土のう運び」(豊野グラウンド)



そんなに回ってもうフラフラじゃ？(河江小学校)



球をよく見て、落ち着いて(豊福小学校)



笑顔で余裕の走り(〇〇)を見せる一般走(不知火中学校)



企業と市が活発な意見交換 **企業クラブが行政との懇談会**

9月27日、宇城市企業クラブ(永井毅会長・59社)が松橋ホワイトパレスで、行政との懇談会を開きました。

同クラブが市との連携を強化するのが目的。38社の代表や市の部課長ら約70人が出席しました。

永井会長のあいさつの後、阿曾田清市長が市の今後の主な取り組みについて説明。質疑応答では、企業側から市の予算に関することや公共事業のこと、ごみ問題、企業への優遇措置などについてさまざまな質問が出され、担当部課長らが応答。活発な意見交換が行われました。



今後の主な取り組みについて説明する阿曾田市長

寺本さんと中井さんがダブル受賞 **『少年の主張』県大会**

9月23日、あしきた青少年の家で第27回「少年の主張」熊本県大会が開かれ、応募総数953人から選ばれた県内各地区の代表者13人が出場しました。

宇城地区からは、不知火中学校2年・寺本有花さんと松橋中学校3年・中井仁美さんの2人が代表として出場。寺本さんが「今、私達に一番必要なもの」、中井仁美さんが「新しい風を」と題し、堂々とした意見発表を行いました。

審査の結果、寺本さんが優秀賞・中井さんが奨励賞を受賞しました。



奨励賞の中井仁美さん



優秀賞の寺本有花さん